

—川崎市市民ミュージアム 夏休み期間中の企画展のお知らせ—

見るだけじゃない。子どもも大人も、触って、入って、体験しよう！

企画展「からくりトリックの世界」

～日本を代表する3Dアート作家と「TVチャンピオン」優勝経験をもつ現代からくり作家、2つの展覧会を同時開催！～

川崎市市民ミュージアムでは、2017年7月8日(土)から8月20日(日)まで、夏休み期間中の特別企画として「からくりトリックの世界」を開催いたします。目で見て鑑賞するだけではなく、来場者自身が参加・体験しながら作品と身近に親しめる2つの企画展をご用意します。

【企画展示室1】

「服部正志 トリック3Dアート」展

派手なトリックと斬新な表現で日本を代表する3Dアート作家として知られる服部正志の作品を30点余り展示します。

全国各地で展覧会を開催し、好評を博してきた服部ですが、今回は待望の新作も登場します。錯覚によって、来場者自身が楽しい立体絵画の一部になることができるトリック

3Dアート。ファミリーで、友人同士で、想像力を活かして自由に写真撮影をお楽しみいただけます。

【企画展示室2】

「高橋みのる 現代からくりアート」展

2000年にTVチャンピオン(テレビ東京)「木のおもちゃ職人選手権」で優勝した高橋みのるによる大小さまざまな木製のからくり玩具を50点余り展示します。巧みな技と遊び心が融合した「からくり」は日本古来の工芸品ですが、現代にも確実に受け継がれ、電動で動く玩具など、より近代的な仕組みに生まれ変わっています。実際に作品に触れて遊ぶことができるハンズオン展示で、子どもたちが自らの手でからくりの仕組みを体験できるほか、「木のおもちゃ」のあたたかみも感じられる内容です。



～「からくりトリックの世界」開催概要～

★7月22日・29日、8月5日・12日・19日の土曜日は19:00まで開館します★

【会 期】2017年7月8日(土)～8月20日(日)

【会 場】川崎市市民ミュージアム 2F 企画展示室1・2

【開館時間】9:30～17:00(最終入館は16:30まで)

【休 館 日】毎週月曜日(7月17日は開館)、7月18日(火)

【観 覧 料】2展覧会共通：一般500円(400円)、65歳以上・学生400円(300円)、中学生以下無料
※()内は、20名以上の団体料金 ※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。

【主 催】川崎市市民ミュージアム

企画展示室 1 「服部正志 トリック 3D アート」展



作家プロフィール：服部正志
1962 年生まれ。多摩美術大学 絵画科卒。埼玉県在住。派手なトリックと斬新な表現で国内を代表する 3D アート作家として知られるようになる。国内外で「トリック 3D アート展」「魔法の絵画展」を開催。エンターテインメント性を持ちながら斬新でクオリティの高い 3D アートを作る事に精力を注ぐ日々を送っている。

左《猫と金魚》、右《アラビアの魔法の本》



企画展示室 2 「高橋みのる 現代からくりアート」展



作家プロフィール：高橋みのる
1959 年青森県八戸市生まれ。80 年代から木工を始め、2000 年 TV チャンピオン(テレビ東京)「木のおもちゃ職人選手権」優勝。国内外の美術館や学校機関のために木工やからくりを制作、発表しており、大学の非常勤講師も務めている。

左《カンパーイ》、右《ロボトンボ》



～関連イベント～ ※詳細はチラシ・HP をご確認ください

■Pepper による服部正志展 トリック・ギャラリートーク

【日時】7月8日(土) 15:00～ ★トーク終了後は Pepper とふれ合う時間も！

■高橋みのる からくりトーク

【日時】7月16日(日) 14:00～15:00

■ベビーカーツアー

【日時】7月20日(木) 11:30～ 【対象】0歳～未就学児と保護者 **事前申込制**

■親子で楽しむペーパーからくりワークショップ(右画像は作品例)

【日時】8月5日(土) 13:30～15:30 【対象】4歳以上のお子様と保護者 **事前申込制**



～会期中同時開催～ ※どなたでも無料でご覧いただけます

■福田繁雄の視覚トリック展

「平面のような立体、立体のような平面」という言葉を残した福田繁雄(1932-2009)は、立体オブジェを数多く制作したグラフィックデザイナーでした。本展では、当館が所蔵するポスター30点により、平面上で行われた視覚トリックの試みを紹介すると共に、逍遥展示空間の常設オブジェとの関連性にも光をあてます。

■追悼 松本俊夫(1932-2017) 映像の反現実的・幻想的・魔術的な表現を求めて

日本の前衛映画の巨匠であり、記録映画、劇映画、実験映画、ビデオ・アートなど幅広い領域で活躍し、映像教育に大きな功績を残した松本俊夫のビデオ作品が、展示空間に写しだされます。見慣れない言語を超えた映像感覚を体感してください。

<川崎市市民ミュージアム 施設概要>



多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて 1988 年 11 月に開館した博物館と美術館の複合文化施設です。

■住所：〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力 1-2 (等々力緑地内)

■開館時間：9:30～17:00 (入館は 16:30 まで)

■休館日：月曜日(休日の場合は開館)、祝日の翌日(土日の場合は開館)、年末年始

■観覧料：企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。博物館展示室は無料。

*障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は、観覧無料。

*20 名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。

■アクセス/下記いずれもバス停「市民ミュージアム前」下車すぐ

- ・武蔵小杉駅(JR 南武線、横須賀線・湘南新宿ライン、東急東横線・目黒線)よりバスで約 10 分
- ・武蔵溝ノ口駅(JR 南武線)・溝ノ口駅(東急田園都市線・大井町線)よりバスで約 20 分
- ・JR 川崎駅よりバスで約 40 分

【お問い合わせ、取材のお申込み、画像使用に関するご要望は下記までご連絡ください】

川崎市市民ミュージアム(指定管理者：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体) 営業・広報担当/鋒山(ほこやま)・坂下・石澤

TEL: 044-754-4500 FAX: 044-754-4533 MAIL: pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP: <http://www.kawasaki-museum.jp/>